



# 進取

【令和8年7月号】浦添市立浦添小学校

## ＜学校教育目標＞

夢を持ち、自ら学び考え、互いを思いやり、持続可能な社会にたくましく生きる児童を育成する。

★自ら考える子

★思いやる子

★たくましい子

★持続可能な社会に生きる子

## ☆成長した1学期、そして夏休みへ☆

保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動への温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。早いもので、1学期も残すところわずかとなりました。4月の始業式・入学式からこれまでの間、子どもたちは日々の授業や行事を通して、心身ともに大きく成長いたしました。

特に今学期は、子どもたちが「自分で考えて行動する」場面が数多く見られました。高学年が下級生をリードする姿、係活動や掃除に責任を持って取り組む姿など、主体的な自立への一歩をととても頼もしく感じております。夏休みは、この「自立」の力を大きく伸ばす絶好の機会です。学校のようにチャイムが鳴らない生活のなかで、いかに規則正しく過ごし、自ら時間をコントロールできるかが鍵となります。そのために、例えば「地域のラジオ体操に参加する」「スマートフォンの使用時間を決める」など、ぜひご家庭で一日のスケジュールやルールについて話し合ってみてください。親に言われて動くのではなく、自分で決めた予定を守る達成感を、この夏にぜひ味わわせてください。また、本校は校区内に市立図書館があります。この機会に親子で足を運び、共に絵本や物語を開く時間を作ってみてはいかがでしょうか。涼しく落ち着いた空間は、読書習慣を育むのにも最適です。本を通じて親子の会話を広げ、心豊かな時間を過ごしましょう。子どもたちの主体的な挑戦への、ご家庭での温かいサポートをよろしくお願いいたします。

## ☆平和学習について☆



6月23日の慰霊の日を前に、本校では平和集会を行いました。各学年の発達段階に応じ、映像資料や読み聞かせを通して平和のありがたさを学び、戦争をおこさないためにはどうしたらよいか等を一人一人がじっくりと考えるよい機会となりました。

また、銘苅健浦添市教育長をお招きし、一人芝居を披露していただきました。そのお芝居の中で、私たちの命は、多くの先人たちが言葉にできないほどの苦難を乗り越え、絶やすことなく繋いできてくれた大切なものであるという事も深く伝えていました。

集会の後半では、最高学年である6年生が力強い言葉で平和への思いを語り、その切なる願いを美しい歌声に乗せて表現しました。バトンを受け継ぐにふさわしい、全校児童の胸を打つ素晴らしい合唱でした。

今、子どもたちが笑顔で学校に通い、友達と学び合える日常は、決して当たり前ではありません。この何気ない平和な日々こそが、先人から受け継いできたバトンそのものです。子どもたちには、自分の命、そして身近にいる友だちの命を心から大切にできる、思いやりのある人に育ってほしいと願っています。

慰霊の日は過ぎていますが、ご家庭でも、沖縄の歴史に想いを馳せ、受け継がれてきた命の尊さや、身の回りにある日常の平和について、ぜひお子様とゆっくり話し合う時間を作っていただけたらと思います。